一般質問

一般質問とは、町政のあらゆる分野について、議員が、議会本会議において町の事実・施策・見解などを問うことができるものです。

この一年で私がしたおもな質問とそれに対する町の回答の要約を掲載します。（全文は議会議事録の該当ページでご覧いただけます。）

男性の育児休業取得を進めるための取組について（9月議会 P62～）

木谷：男性の育児休業取得が、官公署において当たり前になれば、世間の認識も変わり、民間における取得率向上（現状は2.3%）の道筋となります。三郷町の男性職員の育児休業についての現状とそれに対する認識及び取組は？

町：育児休暇取得率は女性職員100%に対し、男性職員は実績がない（0%）のが現状です。

男性職員が育児休業を取得するか否かは職員自ら判断することであり町が強制的に取得させることはできないと考えています。

しかし、男性職員の家庭生活への参加促進を図ることは女性の活躍に不可欠であり、男女共同参画を実現するため、今後は関係各課が連携し、職員等への意識啓発を図る取り組みも進めてまいりたいと考えます。

木谷：男性職員自身が育児休業を希望していないという旨のご発言がありましたが、ある調査によれば、もし会社に前例があれば取得したいという若者男性は60.9%にのぼるとされています。

個々の啓蒙・対策も重要ですが、トップのメッセージも非常に重要です。ぜひ、町長自ら強い決意を持ってメッセージを発信していただきたいと思います。

町長：それでは、宣言したいと思います。職員が育児休業を積極的に取るように啓発することを宣言いたします。宜しくお願いします。

三郷町における性的少数者の権利保護のための取組について（12月議会 P73～）

木谷：三郷町にも多くの該当者がおられるであろうLGBT（※）の方たちは、いまでも制度の不具合や世間の偏見による生きづらさを抱えて生活されています。

とりわけ教育現場における、このような現状について町としての認識と今後の対応は？

※LGBTとはレズ・ゲイ・バイセクシャル・トランスジェンダーの頭文字で性的少数者の総称とされている用語です。

町：学校教職員においては人権問題研修の一環として性同一性障害の問題について学習しておりますが、生徒や保護者に関しては、このようなことはしていない状況です。

今後その解決に向けて啓蒙教育を図ってまいりたいと思っております。

木谷：今までそういう相談がなかったからといって該当者が全くいないものとは思わないでいただきたいです。

この件に関しては、まず先に配慮を示すことが必要です。LGBTを理解し受け入れているというメッセージを積極的に発信していくことで、はじめて相談をする勇気をもってもらえます。あらゆる機会をとらえて発信していただければと思います。

三郷町立図書館の利用促進について（12月議会 P77～）

木谷：蔵書に対するアクセスを可能な限り容易なものとすべく、図書館の本を自宅に届けてもらえる宅配サービスを導入してはいかがでしょうか。

町：平成10年の開館当初より希望者に対し、有料ではありますが郵送サービスを行っております。

また、要介護・身体障害等の方に対しては、登録していただき、無償で郵送サービスを実施しております。

この登録の登録者数につきましては、過去には３名程度の登録がございましたがここ数年は登録をしておられる方はいません。

木谷：そのような制度が、一般の住民目線で存在することが分かるものだったかは疑問です。

一般の方が知らないということは、制度が存在しないのと同じです。改めて周知を図っていただければと思います。

木谷しんいちろう

プロフィール

昭和50年4月26日 三郷町生まれ
三郷北小学校・三郷中学校卒業
立命館大学 政策科学部卒
フルタイムで働く妻と2男1女の5人家族
しゅうおう行政書士事務所 代表者

木谷しんいちろう事務所
奈良県生駒郡三郷町三室1丁目12-13
しゅうおう行政書士事務所 内
TEL 0745-43-8890
WEB http://kitani-shinichiro.jp/

木谷（きたに）しんいちろう Assembly Report 三郷町議会報告

三郷中学校建替に関する議員視察について

平成27年10月に、石川県白山（はくさん）市・羽咋（はくい）市へ私を含め町議会議員が視察に行きました。

中学校2校を視察させていただき、従来の中学校のイメージが変わるような開放的な空間と機能的な配慮が行き届いた、先進事例を体感しました。

この様子は、木谷しんいちろうホームページ（ http://kitani-shinichiro.jp/ ）に報告書を掲載していますので、ご興味のある方はぜひご覧ください

安保法案の廃案を求める意見書について

平成27年度6月議会において採択された、『「国際平和支援法案」及び「平和安全法制整備法案」の廃案を求める意見書』について、私は採択に賛成しました。

その後、安保法制が成立したため、12月議会では『「国際平和支援法」と「平和安全法制整備法」の廃止を求める意見書』が提案されましたので、同じく賛同しました。

私は、仮にこのような法律を作るのであれば、まずは憲法9条の改正を行うべきであり、憲法上の文言を超えた解釈によって憲法違反の法律を作ることは許されないと考えます。

新給食センターオープニング式にて

早くも一年経ちます

早いもので、私が町議会議員に当選させていただいてから、もうすぐ一年が経とうとしています。任期の4分の１を終えようとしている今、どのような活動を行ってきたのかを本号でご報告いたします。

男女がともに活躍できる社会へ

旧来の、男性が一人で家計を支えるという「男性稼ぎ手モデル」社会が限界をむかえたいま、男女がともにワークライフバランスを維持しながら責任を持って仕事に活躍し、そしてともに家庭・子育てに携わる男女共同参画の推進が一層求められています。

そのために私は、保育所（三郷町においては特に病児保育）の整備や、長時間労働の是正・テレワークを含めた個々の事情に合った多様な働き方の選択ができるようになる「働き方改革」の実現を目指します。

この1年間で開催された議会

今年度、私が参加しました議会は、この5つの議会です。おもな内容をご紹介いたします。

平成27年第1回（5月）臨時議会

議長・副議長や委員会の所属などの人事を決める臨時議会です。

議長に伊藤勇二氏、副議長に神崎静代氏が選出された他、私は総務建設常任委員会・上下水道特別委員会に所属することとなりました。

平成27年第2回（6月）定例議会

定例会ですが、例年、大きな予算や決算などがない議会です。予算の補正や、条例の制定・改正などが行われます。

今年のこの議会では、安保法制に反対する意見書（地方議会が公益に関する事項について国に出す意見）の賛否をめぐって議論がありました。

私は、今回の安保法制については、反対する意見に賛同しています。

平成27年第3回（9月）定例議会

おもに昨年度（今回は平成26年度）の決算を審議する議会です。

決算審査は、町政の全分野に関して、大切なお金が有効かつ適切に使われているかを確認する手続きです。

非常に範囲が広いため、私もまだ全容がつかめずにいますが、引き続き勉強していきたいです。

平成27年第4回（12月）定例議会

定例会ですが、6月議会と同じく、大きな予算や決算などがない議会です。

しかし、今回はゴミ焼却場の将来、そして三郷中学校の建替方法など、二つの大きな決定がされています。

まず第1点として、今は町単独で清掃センターで行っているゴミ焼却を、平成35年（予定）からは、これから天理市に建設する共同施設で行っていくことを決定しました。

また、平成29年度着工予定の、三郷中学校の建替に際して、中学校生活の3年間がすべて何かの工事がされている落ち着かない状態で過ごす子どもが生じないよう、なるべく工期を短くするため、仮設校舎を奈良学園大学内に確保したうえで、校舎と体育館を一気に取り壊し、2年ほどで完成させる方針が決定されました。

三郷中学校 現在の校舎

平成28年第1回（3月）定例議会

おもに来年度（今回は平成28年度）の予算を審議する議会です。

来年度は、三郷町制五十周年のイベントが数多く予定されていたりということもあり、一般会計の予算総額は80億円の大台を超える予算となりました。

また、三郷町の将来像を定める「まちづくり総合戦略」や「人口ビジョン」が定まりました（右ページをご覧ください）。

平成28年度新規事業について

平成28年度の事業と予算が、3月議会で可決され、決定しました。私が注目する新規事業をご紹介します！

防犯カメラの設置に対する補助金 新

地域における自主的な防犯活動を補完するため、犯罪発生の抑止効果がある防犯カメラを設置する自治会や自主防犯組織等に対し、設置費用の一部を補助します。

助成率：2分の1　　限度額：20万円

私が実現を目指していた「防犯カメラ等の防犯機器設置に対する補助」が、平成28年度新規事業として予算化されました。

自治会等の団体単位となりますが、補助額も十分ですので、ぜひご活用ください。

通学路への防犯カメラの設置 新

子どもの安全確保や犯罪抑止を目的として、通学路に防犯カメラを設置し、映像データを一括管理します。

最近の子どもを狙った犯罪の抑止を目的として、通学路に的を絞った防犯カメラの設置を行います。安心して子どもを学校に通わせるのに役立つ投資です。

子ども議会の開催（小学生） 新

子ども達に議会の仕組みや町政に対する関心を深めてもらうため、小学校高学年を対象に子ども議会を実施し、その内容を掲載した「議会だより記念号」を発行します。

「町政への理解・参加への関心を高めていく」という、私の目指すところと共通した新規事業です。

その他私は、若年世代の投票への参加を促すために、期日前投票所の駅前（JR三郷駅前等）への設置を訴えています。

議会議事録のインターネット公開 新

私が実現を目指してきたインターネット公開が、いよいよ平成28年度から始まりました。既に三郷町のホームページでご覧いただけるようになっています。

今回は、本会議の議事録のみの公開となりますが、今後も引き続き、将来的な本会議・委員会のインターネット完全中継を目指して、活動していきます。

三郷町まちづくり総合戦略 三郷町人口ビジョンの策定について

三郷町の2040年（約25年後）の将来人口は、16475人（現在より30%減）まで減少するといわれています。

しかし、三郷町では、この度策定した両計画において、今後とも出生率の向上・転出抑制や、転入の拡大を推進し、2040年においても、人口2万人を維持する（現在より14%減までに抑える）ことを目指していくこととなりました。

私も「夫婦が理想とする数の子どもを持つことへの障害を取り除く」、「三郷町の地域としての魅力を高め若い世代の移住を促進する」などの私の従来からの主張と合致するこの計画を、確実に実現できるよう、貢献していきたいと思います。

「たつたひめ」LINEスタンプ販売中！

みなさまおなじみの、三郷町イメージキャラクター「たつたひめ」がLINEスタンプに登場しています。ぜひ、応援してあげてください！